

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(中学校用)

都道府県名	島根県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	浜田市立第三中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4	2	13	26
生徒数	114	136	137	5	392	

研究の概要

1. 研究主題

21世紀をたくましく生き抜く生徒の育成
～個に応じたきめ細やかな指導の実践を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

少人数指導の取り組み

- ・1年生・理科 以前から少人数指導かTT指導を希望していた教科であり、1年生は1クラス38人と生徒数も多いため。
- ・2年生・数学 生徒の理解状況の差が大きく出やすく、生徒自身も自分の理解度を自己評価しやすい教科、学年であるため。
- ・3年生・英語 昨年度TT指導に取り組んでおり、その研究実績からさらに研究を深めていくため。

TT指導の取り組み

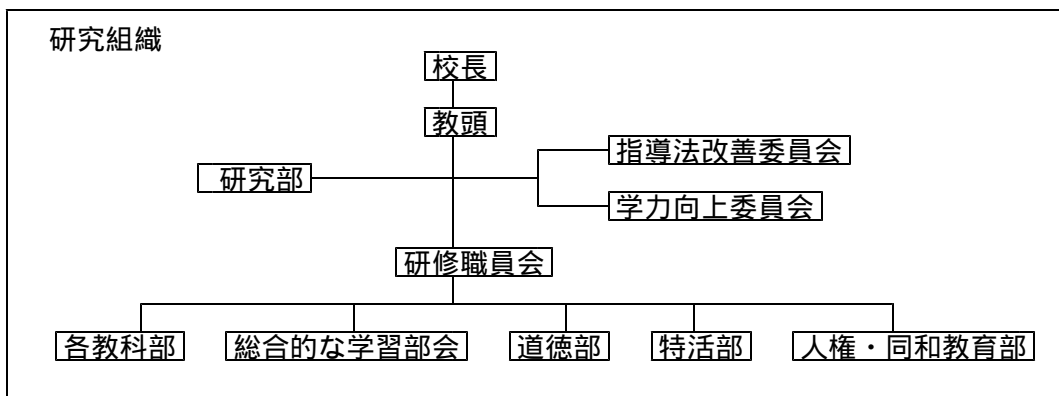
- ・国語、社会、保健体育で、単元や授業内容によって取り組む。
- ・その他の教科 授業内容によって、外部講師を招いた授業に取り組む。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導の充実 ～少人数指導、TT指導の取り組みを通して～</p> <p>研究の見通し 少人数指導やTT指導を取り入れることによって、一人一人の実態に応じて指導しやすくなり、生徒の力を伸ばすことができるようになるだろう。</p> <p>研究の内容・方法 個に応じた指導のための指導方法、指導体制の工夫改善に重点を置き、特に少人数指導に取り組んだ理科・数学・英語を中心に研究を進めた。</p> <p>1年生・理科 クラスを出席番号の前半と後半に分け、少人数指導を行う。内容によっては、TT指導を行う。</p> <p>2年生・数学 生徒の希望を採り、じっくりコース(基礎定着)とチャレンジコース(基礎徹底、発展応用)の習熟度別の2コースを設定し、少人数指導を行う。</p> <p>3年生・英語 クラスを出席番号で前半と後半に分け、Aクラス、Bクラスで少人数を行う。</p> <p>TT指導(国語・社会・体育) 単元または授業内容によってTT指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語(書写指導を中心に)) ・社会(調べ学習で) ・体育(競技選択制の授業で) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術での外部講師を招いた授業への取り組み ・本校の特色である人権・同和教育を生かした取り組み(人権集会への取り組み、事前事後指導など)
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導の充実 ～少人数指導，TT指導の取り組みを通して～</p> <p>研究の見通し 平成15年度の実践と反省を基に、少人数指導を中心に取り組み、指導方法・体制の工夫改善について研究を進めていけば、一人一人の生徒の力を伸ばすことができるようになるだろう。</p> <p>研究の内容・方法 個に応じた指導方法、指導体制の工夫改善に重点を置き、数学・英語を中心に取り組んでいく。 数学 2年生または3年生での習熟度別少人数指導、1年生でのTT指導を取り入れる。 英語 2年生または3年生で少人数指導またはTT指導を取り入れていく。 その他 ・TT指導を単元や授業内容によって取り入れる。 ・外部講師を招いた授業 ・本校の特色である人権・同和教育を生かした取り組み（人権集会への取り組み、事前事後指導など）</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

2学期末に行った少人数授業についての生徒アンケート及び担当教員へのアンケートから次のような成果があった。	
1年生・理科	実験や観察を行う場合、少人数で行う方が実験操作，器具の取り扱いにおける定着率が高かった。
2年生・数学	じっくりコースは10名程度であるので、生徒の様子を見ながら授業を進めることができ、生徒達も集中して取り組むことができた。アンケートからもじっくりコースの生徒の満足感が大きいことが伺えた。どちらのコースも生徒の質問に対応しやすく、生徒の様子を把握しやすいので、すぐに授業に生かすことができた。
3年生・英語	表現活動が重要な部分を占める教科なので、少人数で行うと生徒一人一人の活躍の機会が増え、意欲の向上にもつながった。

2. 今後の課題

理科	<p>実験や観察を少人数で行う際、実験器具の数が十分でなく、T T指導に変更せざるを得ない場合が多々あった。そのためか、1年生では少人数指導の利点が十分生かされなかったといえる。また、1年生は中学校での授業自体が初めてのため、一斉授業との比較ができないためか、アンケートでも少人数指導の必要性を感じていない生徒が多かった。</p> <p>理科で少人数を実施する利点が多いが、実験器具の数という用具の面の解消が必要になってくる。来年度、理科で実施するかは検討課題である。</p>
数学	<p>生徒の評判も良く、習熟度別学習も問題なく行うことができた。来年度の課題としては、どの学年で実施するか（2年生か3年生か）、1年生ではT T指導を取り入れられないかという点と各コースでの授業の進め方についてのさらなる研究の2点が挙げられる。</p>
英語	<p>少人数で取り組む際に、A, Bの二つに分かれたが、その際の授業の進め方などについてどのようにしたらよいのかという点について研究を進めて行くことが課題として挙げられる。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やT T指導が取り入れられている教科以外の教科での学力向上に向けての取り組みをどう進めていくか ・本校の特色である人権・同和教育を生かした取り組みをどのように進めていくか。

学力把握のための学校としての取組

定期テスト	各学期に1回（既習事項の理解定着の様子を知るため）
単元テスト	各学期に2～3回（単元ごとの内容定着の様子を知るため）
生徒へのアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・時期 学期末に1回（2学期末に実施） ・対象 少人数指導を行っている各学年の生徒全員 ・目的 生徒の少人数指導に対する意識を調査することによって、生徒の意識の変容をとらえるとともに、指導改善への手がかりとする。 ・内容 少人数指導で授業を受けた感想 一斉授業と比較 少人数指導による授業の良い点 今後の改善点、要望など

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導による英語科授業の公開 期日 平成15年10月10日（金） 場所 浜田市立第三中学校 教科 3年生英語 対象 浜田市内の小中学校、那賀郡内の中学校、浜田教育事務所管内の学力向上フロンティアスクール指定中学校の教職員 目的 英語科における少人数指導への取り組みの発表 11年目研修該当教員による研究授業
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導による授業の公開 時期 1学期または2学期 場所 浜田市立第三中学校 教科 数学または英語（予定） 対象 浜田教育事務所管内の小中学校 目的 少人数指導における研究の成果の発表

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無